

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 インヴァスト証券株式会社  
 コード番号 8709 URL <http://www.invast.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川路 猛  
 (氏名) 坂本 純一

TEL 03-3595-0423

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,243	△2.0	2,234	△1.9	200	—	229	—	234	—
23年3月期第3四半期	2,289	△25.6	2,279	△25.4	△115	—	△105	—	△138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3,662.39	3,591.25
23年3月期第3四半期	△2,153.49	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	78,145	9,027	11.5
23年3月期	65,448	8,785	13.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,012百万円 23年3月期 8,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成24年3月期の期末日における配当予想額は、現時点において未定です。

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,789	△9.2	110	—	139	—	143	—	2,243.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 当社の業績は、市況環境の影響を大きく受ける傾向にあるため、翌四半期毎の業績予想を行ってまいります。  
 平成24年3月期第4四半期業績予想(平成24年1月1日～平成24年3月31日)については、[添付資料]P.2【業績予想】をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	64,114 株	23年3月期	64,114 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	64,114 株	23年3月期3Q	64,114 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年3月期の期末日における配当予想額は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

○添付資料の目次

【業績予想】 .....	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	3
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	3
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	5
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
第3四半期累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
決算概況資料 .....	11

【業績予想】

平成24年3月期の第4四半期業績予想(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
平成24年3月期第4四半期会計期間 (平成24年1月1日～平成24年3月31日)	546	△30.2	△90	—	△90	—	△91	—	△1,419	35
平成24年3月期通期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)	2,789	△9.2	110	—	139	—	143	—	2,243	04

当社は、平成23年11月28日より、新しいサービスとしてFX自動売買サービス「シストレ24」(※)を開始しております。同サービスは、本資料発表日時点において順調に口座数を伸ばしており、第4四半期において積極的なプロモーションを行うことで、取引所FX「くりっく365」、店頭FX「FX24」に続く収益の柱として早期に拡大を図ってまいります。

平成24年3月期の第4四半期業績予想において、上記の要因による広告宣伝費等の販売費・一般管理費の増加を見込んでおりますが、当社の業績は市況環境の影響を大きく受ける傾向にあり、様々な要因により大きく変動する可能性があります。

なお、取引所FX「大証FX」につきましては、平成24年6月をもってサービスを終了することを予定しておりますが、同サービスに係る固定資産については、平成23年3月期において全額減損処理を行っているため、当期業績に与える影響は軽微であると認識しております。

※(注)「シストレ24」とは・・・

シストレ24のプラットフォームは、その性能の高さから世界中で20社以上に導入されているTradency社の「Mirror Trader」。バックトレードシステムは、機関投資家などのプロ投資家向けに開発され、世界のプロ投資家やブローカーから高い評価を受けているFX取引の最先端システムCURRENEX社のトレードシステム。

さらにストラテジーは「Mirror Trader」標準搭載の約500種類に加えて、国内で実績のあるストラテジープロバイダー各社のストラテジーを追加搭載しています。

世界中の優れたパートナー企業との連携により、最高水準の性能を兼ね備えたFXシステムトレードを無料でご利用いただけるサービスです。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、当初は震災による自粛ムードにも改善傾向が見られ、7～9月期の実質GDP成長率が前期比+1.5%になるなど四半期ぶりにプラス成長となりました。

ただ、中盤以降は、タイの洪水や欧州債務問題の深刻化などにより輸出の停滞傾向が顕著となり、12月の日銀短観でも大企業製造業がマイナスに転じるなど景況感は悪化が鮮明となりました。

外国為替市場は、米国金融緩和観測やユーロの債務問題を背景にドル円が史上最安値を更新し一時75.50円台まで下落しましたが、10月末に日銀による大規模なドル買い円売りが実施され、79円台まで回復する場面もありました。ユーロは、欧州各国が包括戦略に合意したことから欧州債務危機への懸念が一時的に後退し、10月末にはユーロ円は約2カ月ぶりに110円台を回復しました。しかし、年末にかけてはユーロ各国の国債の格下げ懸念が台頭したことから2001年以来の100円割れとなり、英国ポンドやスイスフランなども総じて軟調となりました。

株式市場は、序盤は日銀の追加金融緩和策の発表などにより日経平均は9,000円台を回復する場面もありましたが、欧州債務問題がフランスなどに拡大する懸念が広がったことや、ドイツ国債が札割れになったことなどから年末にかけては取引が手控えられ盛り上げに欠ける展開となりました。

こうした状況のもと、取引所FX「くりっく365」においては、当第3四半期会計期間末の「くりっく365」の口座開設数は67,524口座、預り証拠金残高は465億89百万円（平成23年3月末比32億23百万円増）となりましたが、8月以降は相対的に市況の変動が乏しく、出来高が伸び悩んだ結果、当第3四半期累計期間における取引所FXの受取手数料は、16億74百万円（前年同四半期比86.0%）となりました。

また、店頭FX「FX24」においては、第1回・第2回「リアルトレード!24（にーよん）グランプリ」の開催やiPhone・Android専用アプリの提供、12月からは、新たに「豪ドル/米ドル」、「米ドル/スイスフラン」の2通貨ペアの取扱いを開始しております。さらに、11月からは新しいサービスとして、FX自動売買サービス「シストレ24」を開始するなど、顧客取引機会の増加に繋がるサービスの提供に努めた結果、当第3四半期累計期間におけるトレーディング益は4億98百万円（前年同四半期比203.9%）となりました。

なお、当第3四半期会計期間末における取引所FX、店頭FX及びCFD等を加えた全事業合計の預り証拠金は、538億29百万円（平成23年3月末比53億31百万円増）となりました。

当第3四半期累計期間は、営業収益は22億43百万円（前年同四半期比98.0%）で、これから金融費用8百万円（同79.6%）を差し引いた純営業収益は22億34百万円（同98.1%）となりました。

販売費・一般管理費は、不動産関係費が店頭FXの取引高増加に伴うシステム関係費用の増加により、4億91百万円（同113.8%）と前年同四半期より59百万円増加した一方で、取引関係費は取引所FXの取引高減少に伴う取引所協会費用の減少により、9億38百万円（同84.3%）と1億74百万円減少しました。

また、平成23年3月にのれん等の資産について減損損失を計上したことにより、減価償却費は前年同四半期より2億17百万円減少し1億81百万円（同45.4%）となりました。

その結果、販売費・一般管理費は全体で20億34百万円（同85.0%）、営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は2億円（前年同四半期は1億15百万円の営業損失）、経常利益は2億29百万円（前年同四半期は1億5百万円の経常損失）、四半期純利益は2億34百万円（前年同四半期は1億38百万円の四半期純損失）となりました。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

#### ① 受入手数料

当第3四半期累計期間の受入手数料の合計は17億20百万円（前年同四半期比85.3%）となりました。

内訳は以下のとおりであります。

・委託手数料	4百万円（前年同四半期は計上なし）
・取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	16億74百万円（前年同四半期比86.0%）
・店頭デリバティブ取引の仲介に係る受取手数料	41百万円（同59.6%）

#### ② トレーディング損益

当第3四半期累計期間におけるトレーディング損益は、4億98百万円（前年同四半期比203.9%）の利益となりました。これは店頭FX取引によるものであります。

## ③ 金融収支

当第3四半期累計期間における金融収益は、23百万円（前年同四半期比83.6%）となりました。

一方、金融費用は8百万円（同79.6%）となり、これを差し引いた金融収支は14百万円（同86.3%）となりました。当第3四半期累計期間での金融収支の主な発生要因は店頭CFD取引によるものであります。

## ④ 販売費・一般管理費

当第3四半期累計期間における販売費・一般管理費は、20億34百万円（前年同四半期比85.0%）となりました。内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	9億38百万円（前年同四半期比84.3%）
・人件費	3億63百万円（同98.3%）
・不動産関係費	4億91百万円（同113.8%）
・事務費	21百万円（同68.7%）
・減価償却費	1億81百万円（同45.4%）
・租税公課	20百万円（同88.4%）
・その他	17百万円（同64.8%）

## ⑤ 営業外収益

当第3四半期累計期間においては30百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・受取配当金	24百万円
・未払配当金除斥益	1百万円
・その他	4百万円

## ⑥ 特別利益

当第3四半期累計期間においては8百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	8百万円
----------------	------

## ⑦ 特別損失

当第3四半期累計期間においては1百万円の特別損失を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・固定資産処分損	1百万円
----------	------

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は769億24百万円となり、前事業年度末に比べ、125億88百万円増加しました。これは、取引高の増加に伴い外為取引未収入金が前事業年度末より77億33百万円増加したほか、現金・預金が6億86百万円、信託保全額増加による預託金の増加が5億8百万円、金融商品取引所及びカバー先金融機関等への短期差入保証金が36億68百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は前事業年度末に比べ1億8百万円増加し、12億20百万円となりました。これはソフトウェア等の資産の新規取得があったものの、減価償却費1億81百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、総資産は781億45百万円となり、前事業年度末に比べ126億96百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は689億57百万円となり、前事業年度末に比べ、124億71百万円増加しました。これは主に、顧客からの受入保証金が53億31百万円増加したことに加え、外為取引未払金が前事業年度末より72億79百万円増加したことによるものであります。固定負債は63百万円となり、リース債務の返済等により前事業年度末に比べ、8百万円減少しました。特別法上の準備金においては、金融商品取引責任準備金の戻入を行ったことにより8百万円減少し、96百万円となりました。

この結果、負債合計は691億17百万円となり、前事業年度末に比べ124億54百万円増加しました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は90億27百万円となり、前事業年度末に比べ、2億42百万円増加しました。これは主に当四半期純利益2億34百万円の計上とストックオプションによる新株予約権7百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は11.5%（前事業年度末は13.4%）となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

当社の業績は、市況環境の変動を大きく受ける傾向にあるため、通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。

平成24年3月期第4四半期業績予想につきましては、[添付資料]P. 2【業績予想】をご覧ください。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	1,638	2,325
預託金	9,153	9,661
顧客分別金信託	5,304	4,854
顧客区分管理信託	3,661	4,721
その他の預託金	188	86
短期差入保証金	44,818	48,486
前払費用	117	113
未収入金	1	8
外為取引未収入金	8,572	16,305
未収収益	20	13
その他の流動資産	26	12
貸倒引当金	△12	△2
流動資産計	64,336	76,924
固定資産		
有形固定資産	123	104
建物	47	42
器具備品	37	34
土地	12	12
リース資産	25	14
無形固定資産	324	506
商標権	3	2
ソフトウェア	313	496
電話加入権	6	6
その他	0	—
投資その他の資産	664	610
投資有価証券	323	349
出資金	1	1
長期差入保証金	63	59
長期前払費用	275	199
長期未収入金	19	21
貸倒引当金	△17	△21
固定資産計	1,112	1,220
資産合計	65,448	78,145

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	—	0
デリバティブ取引	—	0
預り金	8	3
受入保証金	48,498	53,829
未払金	81	44
外為取引未払金	7,656	14,935
未払費用	200	121
未払法人税等	19	9
賞与引当金	7	4
リース債務	14	10
流動負債計	56,486	68,957
固定負債		
長期未払金	46	44
リース債務	11	5
繰延税金負債	1	0
資産除去債務	12	12
その他の固定負債	—	0
固定負債計	72	63
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	104	96
特別法上の準備金計	104	96
負債合計	56,663	69,117
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,965	5,965
資本剰余金	3,636	2,813
利益剰余金	△822	234
株主資本合計	8,779	9,013
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	7	14
純資産合計	8,785	9,027
負債・純資産合計	65,448	78,145

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業収益</b>		
受入手数料	2,016	1,720
委託手数料	—	4
取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	1,946	1,674
その他の受入手数料	69	41
トレーディング損益	244	498
金融収益	27	23
その他の営業収益	1	1
<b>営業収益計</b>	<b>2,289</b>	<b>2,243</b>
金融費用	10	8
<b>純営業収益</b>	<b>2,279</b>	<b>2,234</b>
販売費・一般管理費		
取引関係費	1,112	938
人件費	370	363
不動産関係費	431	491
事務費	30	21
減価償却費	399	181
租税公課	22	20
その他	27	17
<b>販売費・一般管理費計</b>	<b>2,394</b>	<b>2,034</b>
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>△115</b>	<b>200</b>
営業外収益		
受取配当金	6	24
未払配当金除斥益	4	1
その他	2	4
<b>営業外収益計</b>	<b>12</b>	<b>30</b>
営業外費用		
遊休資産維持管理費	1	1
不要機器廃棄処理費用	—	0
その他	0	0
<b>営業外費用計</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>△105</b>	<b>229</b>
特別利益		
損害賠償受入	25	—
金融商品取引責任準備金戻入	9	8
<b>特別利益計</b>	<b>35</b>	<b>8</b>

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別損失		
固定資産処分損	0	1
訴訟関連費用	28	—
システム障害による弁済金	25	—
譲渡事業データ保管費用	7	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
その他	0	—
特別損失計	64	1
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△133	236
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	1	△0
法人税等合計	4	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△138	234

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年6月28日開催の定時株主総会決議に基づき、資本剰余金のうち資本準備金822百万円を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、損失の填補に充当しております。その結果、当第3四半期会計期間末において前事業年度末の資本剰余金残高3,636百万円より資本剰余金が822百万円減少し、2,813百万円となっております。

## 決算概況資料

## 平成24年3月期 第3四半期決算概況資料

## 1. 受入手数料

(単位：百万円)

	第52期 第3四半期累計	第53期 第3四半期累計	前年同四半期比 (%)
委託手数料	—	4	—
取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	1,946	1,674	86.0
その他の受入手数料 (店頭デリバティブ取引の仲介に係る受取手数料)	69 (69)	41 (41)	59.6 (59.6)
合計	2,016	1,720	85.3

※委託手数料は、取引所CFD「くりっく株365」によるものです。

## 2. トレーディング損益

(単位：百万円)

	第52期 第3四半期累計	第53期 第3四半期累計	前年同四半期比 (%)
店頭為替証拠金取引によるもの	244	498	203.9
その他	△0	—	—
合計	244	498	203.9

## 3. 自己資本規制比率

(単位：百万円)

		第52期 第3四半期末	第53期 第3四半期末
基本的項目	資本合計 (A)	9,462	9,012
補完的項目	評価差額金(評価益)等	—	—
	金融商品取引責任準備金等	104	96
	一般貸倒引当金	9	0
	計 (B)	114	96
控除資産	(C)	2,175	1,422
固定化されていない自己資本 (A)+(B)-(C)	(D)	7,401	7,686
リスク相当額	市場リスク相当額	2	1
	取引先リスク相当額	50	64
	基礎的リスク相当額	493	535
	計 (E)	546	601
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100 (%)	1,353.9	1,277.9

## 4. 役職員数

(単位：人)

	第52期 第3四半期末	第53期 第3四半期末
役員	8	7
従業員	52	51

損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

期別 科目	前第3四半期 (22.10.1 22.12.31)	前第4四半期 (23.1.1 23.3.31)	当第1四半期 (23.4.1 23.6.30)	当第2四半期 (23.7.1 23.9.30)	当第3四半期 (23.10.1 23.12.31)
営業収益	542	782	908	751	584
受入手数料	499	643	731	569	418
トレーディング損益	33	130	166	172	159
金融収益	9	8	10	7	5
その他の営業収益	0	—	—	0	0
金融費用	3	3	4	2	1
純営業収益	539	779	904	748	582
販売費・一般管理費	792	863	762	669	602
取引関係費	368	410	380	306	251
人件費	123	127	131	118	114
不動産関係費	152	161	173	166	152
事務費	7	6	9	5	6
減価償却費	136	140	54	60	66
租税公課	5	6	8	6	5
その他	△1	11	5	6	5
営業損益	△253	△84	141	79	△20
営業外収益	0	6	26	0	3
営業外費用	0	1	0	0	0
経常損益	△253	△80	167	79	△17
特別利益	—	—	8	—	△0
特別損失	28	603	—	—	1
税引前四半期純損益	△281	△683	176	79	△18
法人税等合計	0	0	5	△3	0
四半期純損益	△282	△684	171	82	△18